

広域連系系統等の作業停止計画 調整・確認結果について (2020・2021年度の年間計画)

2020年 2月28日

電力広域的運営推進機関

1 年間作業停止計画の調整・確認について

2 年間作業停止計画の調整・確認結果

(1) 広域調整対象作業停止計画

a 調整・確認状況

b 調整案に対する申出状況及び不調件名

c 主要作業件名

(2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画

a 調整・確認状況

b 不調の解決に向けた対応の依頼状況

(3) 調整・確認結果

■ 広域機関が取りまとめ、確認、承認する作業停止計画

- ・本機関は、広域連系系統及び連系線の運用容量に影響を与える電力設備（広域連系系統等）の作業停止計画の取りまとめを行う（業務規程第156条第1項）

- ・本機関は、作業停止計画の最終案を受け取ったときは、広域連系系統等の作業停止計画を取りまとめ、別表 1 1 - 2 で定める期日までに、これを確認の上、承認する。（業務規程第161条3項）

（今回の決議事項）

■ 作業停止計画の調整等

- ・本機関は、①広域連系系統等のうち、連系線の運用容量に影響を与える広域連系系統等の作業停止計画の調整（広域調整対象作業停止計画）を行う。（業務規程第156条第2項）

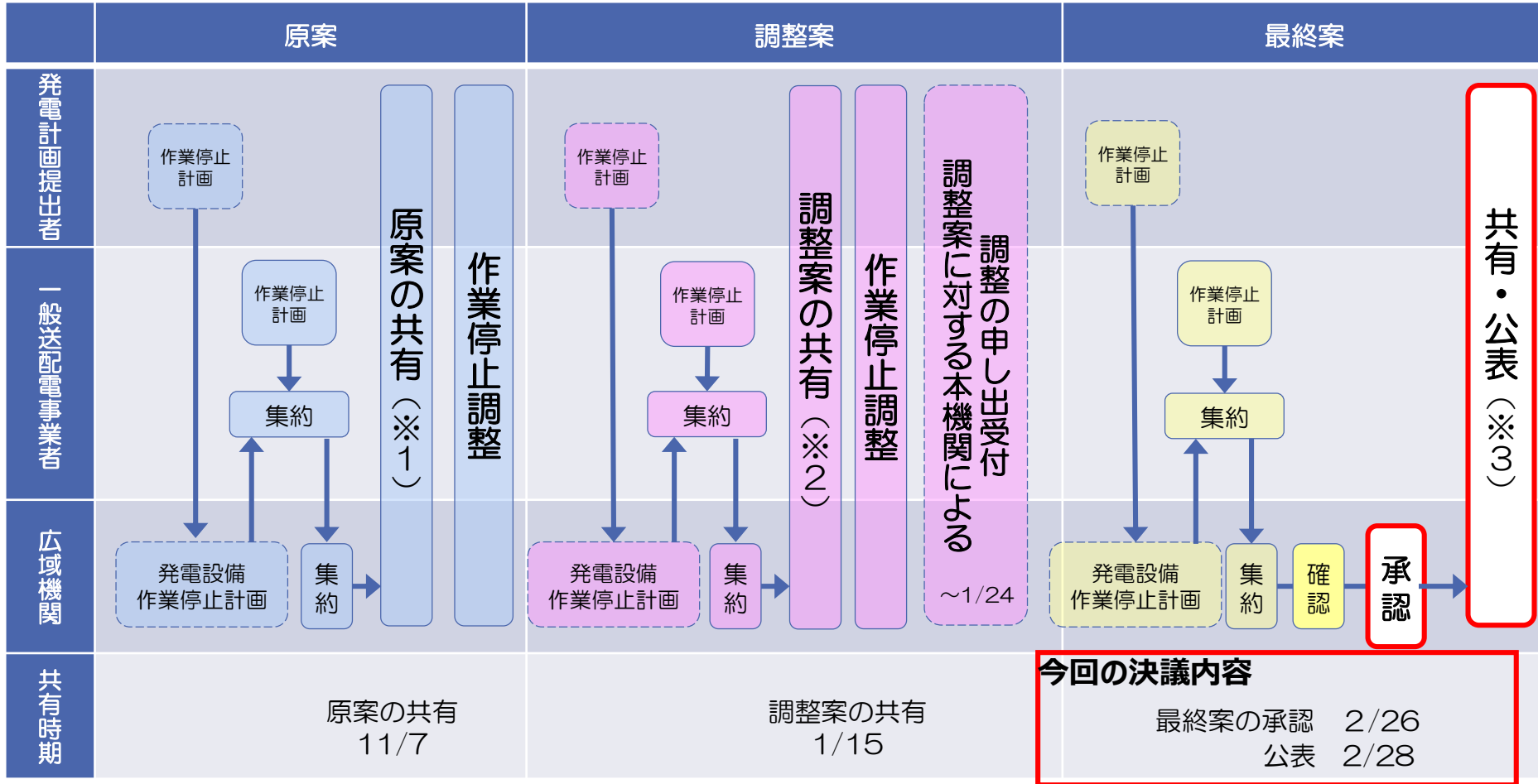
- ・一般送配電事業者は、②連系線の運用容量に影響を与えない電力設備の作業停止計画の調整（一般送配電事業者調整対象作業停止計画）を行う。（送配電等業務指針第229条）

- ・本機関は、共有された広域連系系統等の作業停止計画の調整案に対して、発電計画提出者から再調整の申出があった場合は、再調整を行い、必要に応じて見直しを求める。（業務規程第160条）




- ・本機関は、一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、一般送配電事業者から不調の解決に向けた対応の依頼があった場合は、調整に向けた対応を行う。（業務規程第164条）

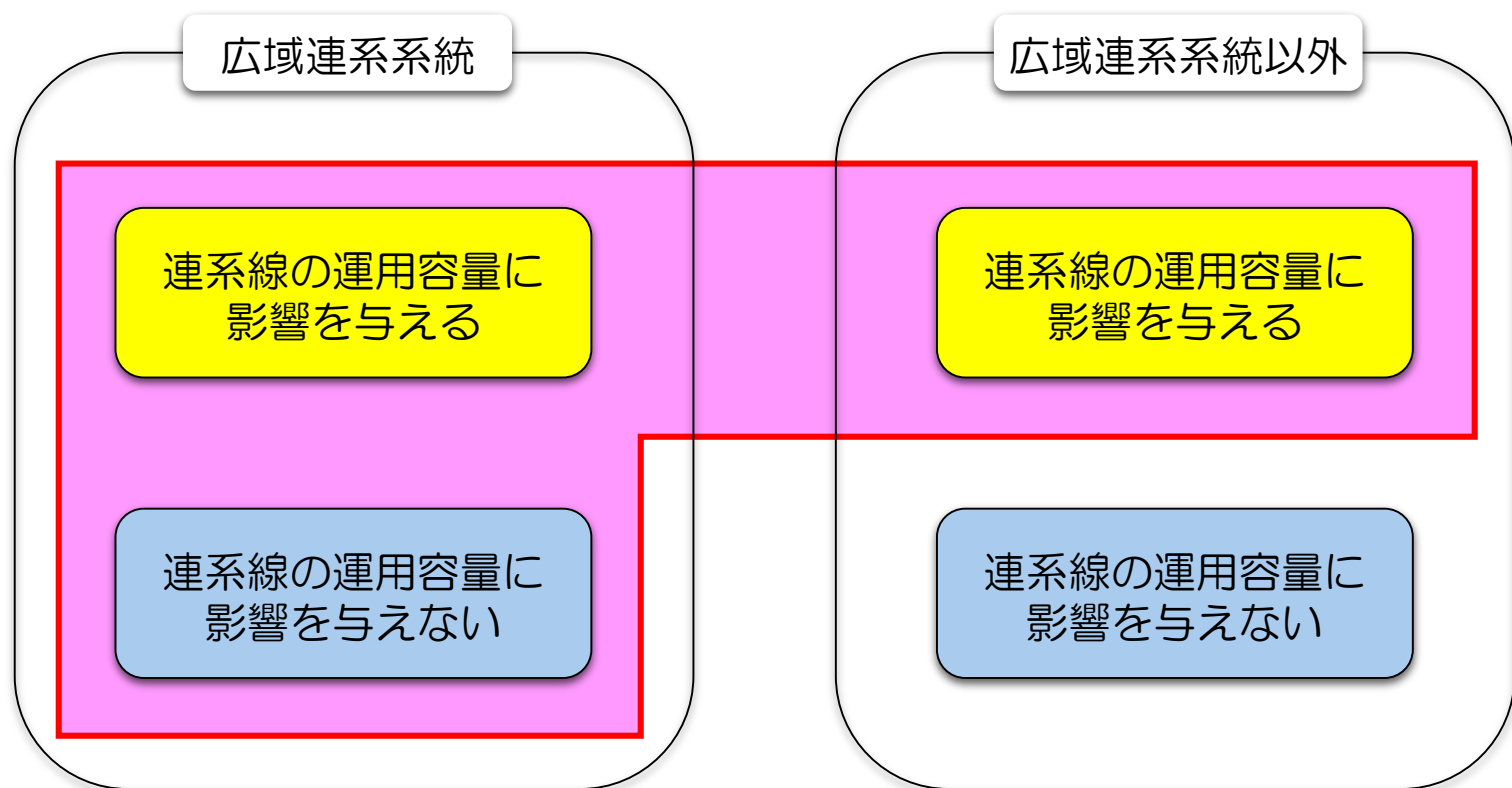
- 原案受領から理事会承認後の公表に至る業務フローは次スライドのとおり。

■ 原案受領から理事会承認後の公表に至る調整・確認フローは以下のとおり。



- ※1：広域連系系統等の作業停止計画原案を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第157条第3項）
- ※2：広域連系系統等の作業停止計画調整案を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第159条第3項）
（調整案に対して、発電計画提出者から本機関による作業停止調整を申し出る場合の申出期日を1/25として共有）
- ※3：広域連系系統等の作業停止計画を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第162条第2項）
系統情報の公表（業務規程第168条）

-  広域連系系統等（広域機関が取りまとめ、確認、承認）
-  ①広域機関調整対象作業停止計画
-  ②一般送配電事業者調整対象作業停止計画



余 白

- 1 年間作業停止計画の調整・確認について
- 2 年間作業停止計画の調整・確認結果
 - (1) 広域調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 調整案に対する申出状況及び不調件名
 - c 主要作業件名
 - (2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 不調の解決に向けた対応の依頼状況
 - (3) 調整・確認結果

- 広域調整対象作業停止計画について、送配電等業務指針244条（作業停止計画の調整における考慮事項）に基づき、下表のとおり、各項目の内容を確認し、停止時期や期間、同調作業停止の調整を実施した。
- その結果、以下の各項目について妥当なものと判断した。

送配電等業務指針に定める考慮事項 (第244条)	広域調整対象作業停止計画	
	主な確認ポイント	広域機関確認結果
1. 公衆安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の必要性 ・ 安全の確保（実施時期、作業期間等） 	○
2. 作業員の安全確保		
3. 電力設備の保全		
4. 作業停止期間中の供給信頼度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各エリアにおける複数連系線の同時停止回避 ・ 同一停止区間の作業同調 ・ エリア需給状況を考慮した作業実施時期 ・ 重負荷期作業実施時の供給力、予備力 	○
5. 作業停止期間中の調整力		
6. 作業停止期間中の一般送配電事業者の供給区域の供給力		
7. 需要の抑制又は停止を伴う作業停止計画における需要家の操業計画		
8. 発電の抑制若しくは停止又は市場分断の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電設備停止作業との同調 ・ 連系線の重潮流時期の回避 	○
9. 作業停止期間の短縮及び作業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の内容、工程、工法 ・ 同一停止区間の作業同調 	○
10. 電気供給事業者間の公平性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電出力抑制時の抑制箇所及び抑制量 	○
11. 複数の連系線の同時期の停止の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各エリアにおける複数連系線の同時停止回避 	○

- 2020年1月15日に共有した調整案に対し、発電計画提出者から本機関による再調整の申出 (1月24日〆切) はなかった。

項目	件数
調整案に対する再調整の申し出	0件

- 広域調整対象作業停止計画について、不調件名はなかった。

項目	件数
不調件名	0件

余 白

2(1)c 2020年度主要作業件名 (広域機関調整対象作業計画)

制約箇所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本北海道	北本	①3/1~5/31 2L、②3/1~6/21 第2極	②3/31~4/4 双極	②6/21~30 双極	②6/2~6 6/8~13 6/15~18 第1極	7/21 上北Tr投入	③8/15~24 帰線						
	新北本						①8/25~9/5 新北本						
東北東京間		4/15~21 新福島2B	5/7~11 相模幹線1L 5/12~15 相模幹線2L	5/11~18 南いわき幹線1L 5/19~26 南いわき幹線2L 5/16~17 5/18~21 吾妻幹線1L 5/22~27 吾妻幹線2L			9/18 南相馬MT3 9/22~26 新福島500kV甲2 9/27~10/1 新福島500kV乙2 10/9~11 相馬双葉幹線1L 10/12~14 相馬双葉幹線2L			10/13~19 新福島3B 10/22~28 新福島4B 11/17 新福島500kV甲2 11/24 新福島500kV乙2			
東京中部間	佐久間	4/4~5 FC						①9/20~25 FC					
	新信濃	4/7~10 4/27~5/1 中信全て北部系統切替		①5/28~6/5 2FC ②5/29~31 6/5 1・2FC ②5/29~30 6/6~6/8 1・2FC ②6/13~15 6/18 6/19 6/20~21 1・2FC					②10/15~3/31 (断続) 1・2FC 10/28~29 2FC ③11/4~17 1FC	※2021年3月末飛騨信濃HVDC運用開始			
	東清水	4/11 FC						①9/27~10/8 FC					
中部関西間					6/30 三重500kV甲B・乙B交互							3/4~5 三重東近江1L2L	
中部北陸間			①6/8~29・30 BTB			②9/4~19 (断続) BTB		③9/23~10/9 BTB	④10/12~13 10/15~3/31 (断続) BTB	※2021年3月末飛騨信濃HVDC運用開始			
北陸関西間						①6/8~29 越前嶺南線2L		②9/23~26	9/28~10/3 10/5~9 越前嶺南線1L		3/2~3 越前嶺南線1L2L		
関西中国間		4/14 新岡山幹線1L 4/15 新岡山幹線2L 4/16 日野幹線1L 4/17 日野幹線2L		5/26 新岡山幹線1L 5/27 新岡山幹線2L				9/1~4 新岡山幹線1L 9/8~11 新岡山幹線2L				①3/1~4/15 日野幹線1L	
関西四国間		①4/20~24 第1極		③6/7~20 第1極									
中国四国間			4/30 本四連系統2L 5/1~2 本四連系統1L		①5/3~16 本四連系統2L ②5/22~6/6 本四連系統1L				10/14 本四連系統1L 10/15 本四連系統2L				
中国九州間		①4/14~25 関門連系統1L		②5/7~18 関門連系統2L									

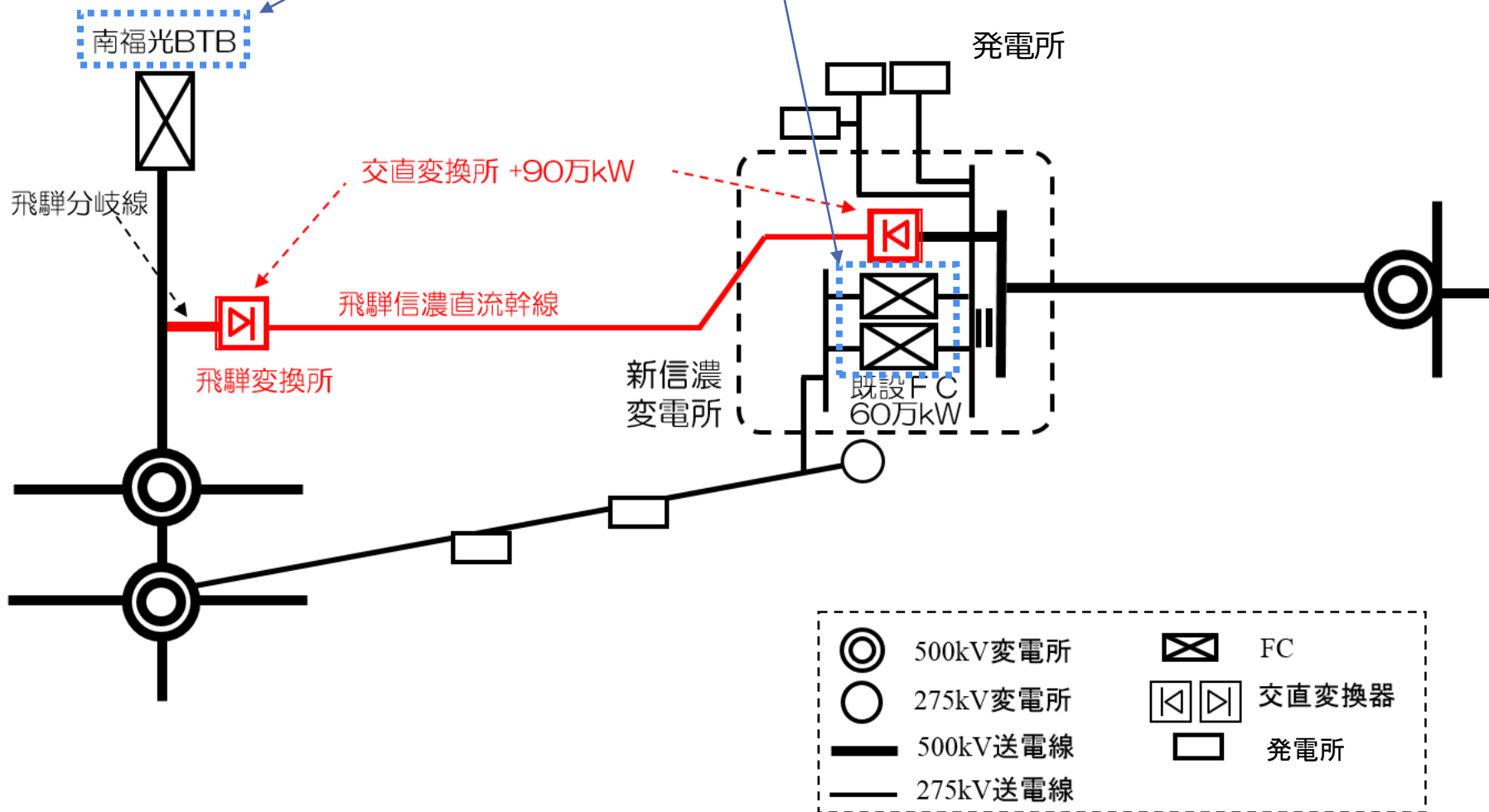
(参考) 2020年度作業における主な調整結果

連系線	主な作業	調整内容
北海道本州間	北本 ①：Bケーブル渚接続箱CSJ化対策工事 他 【前年度決定件名】 ②：第2極制御保護装置他更新 他 【前年度決定件名】 ③：帰線GWWOP張替	<ul style="list-style-type: none"> ①②は同調して実施 ③は帰線であるため①と同調できない。供給力は確保可能であり、障害対応であるため、厳暑期を回避して早期に実施。
	新北本 ①：交直変換設備初回点検 他	<ul style="list-style-type: none"> 4月が適正時期であるが、第2極停止作業との調整の結果、供給力は確保可能であり、厳暑期を回避した工程で実施。
東京中部間	佐久間 ①：サイスタバルブ他定期点検	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
	新信濃 ①：2号サイスタバルブ他定期点検 ②： <u>飛騨信濃HVDC系統連系試験関連(A)</u> ③：1号サイスタバルブ他定期点検	<ul style="list-style-type: none"> ①や同時期の短期作業は、直流技術員不足により②との同調不可。 ②への影響を排除するために近くのFC停止が必要。緊急的な復旧は可能。 ③は②と同調した。
	東清水 ①：サイスタバルブ点検他	<ul style="list-style-type: none"> 4月の作業は1回/半期の自動消火装置点検であり、①との同調不可。
中部北陸間	①③：交流連系に伴う停止 ②：飛騨変換所新設に伴う試加圧・系統連系試験他 ④： <u>飛騨変換所 系統連系試験(A)</u> ⑤：BTB定期点検	<ul style="list-style-type: none"> ①③越前嶺南線作業に伴う南福光交流連系。 ②は飛騨変換所運開のために必要。加圧・実潮流を流すため、①③④との同調は不可。 ④への影響を排除するために近くのBTB停止が必要。⑤は同調した。
北陸関西間	①：架空地線張替 ②：電力線定期点検	<ul style="list-style-type: none"> ①は老朽取替で早期に必要。 ②は飛騨信濃HVDC系統連系試験前に実施。
関西中国間	①：日野禿線1L遮断器取替工事	<ul style="list-style-type: none"> 遮断器の老朽取替。引出線の取り回しやスペースの都合で元位置取替。
関西四国間	①②③：1群サイスタバルブ純水配管修繕	<ul style="list-style-type: none"> 障害調査のため早期に必要。
中国四国間	①②：アラミドシート設置・ケーブル接続部細密点検他	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル火災対策のため早期に必要。重負荷期を避けて実施。 ①は接続箱解体調査等を次年度に調整し作業期間を短縮して実施。
中国九州間	①②：がいし装置取替ほか工事	<ul style="list-style-type: none"> ①②は設備保全のため必要。定期点検と同調して実施。

項目	内容
作業箇所	新信濃変電所、飛騨変換所
作業内容	飛騨信濃HVDC系統連系試験（FC増強90万kW）
停止区間	新信濃1FC、2FC、南福光BTB
作業停止期間	2020年10月15日 8:00～2021年3月31日 22:00（断続94日間）
作業の必要性	<p>新信濃変電所交直変換所および飛騨変換所の試験においては、50Hz/60Hz系統間の電力融通に関する総合的な装置性能・各種機能の検証と調整を行うため、工場や現地で行う単体試験や結合試験に加えて、実系統に連系して試験的に運転する系統連系試験を実施する必要がある。</p> <p>このとき、近隣の既設直流設備（新信濃1FC・2FC、南福光BTB）の交直変換器や交流フィルタ等の干渉がない状態で正確な値を取得する必要があるため、これらの設備を停止する。</p> <p>なお、停止設備自体の作業ではないため、需給ひっ迫時などの緊急的な場合には、基本的に短時間でこれらの停止設備を起動可能である。</p>
作業日程 設定理由	2020年度末 運開に向け各種系統連系試験を実施

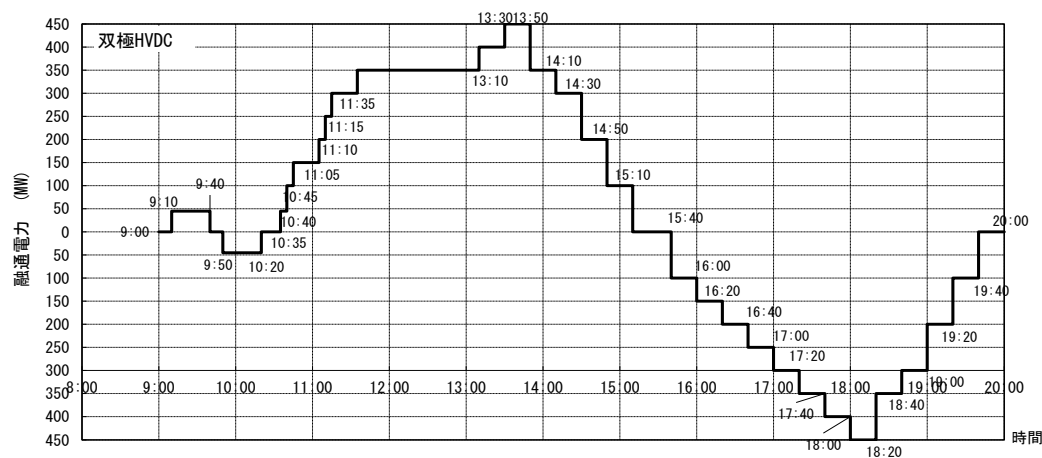
系統概略図

飛騨信濃HVDC系統連系試験に伴う、
新信濃 1 FC・2FC、南福光BTB停止



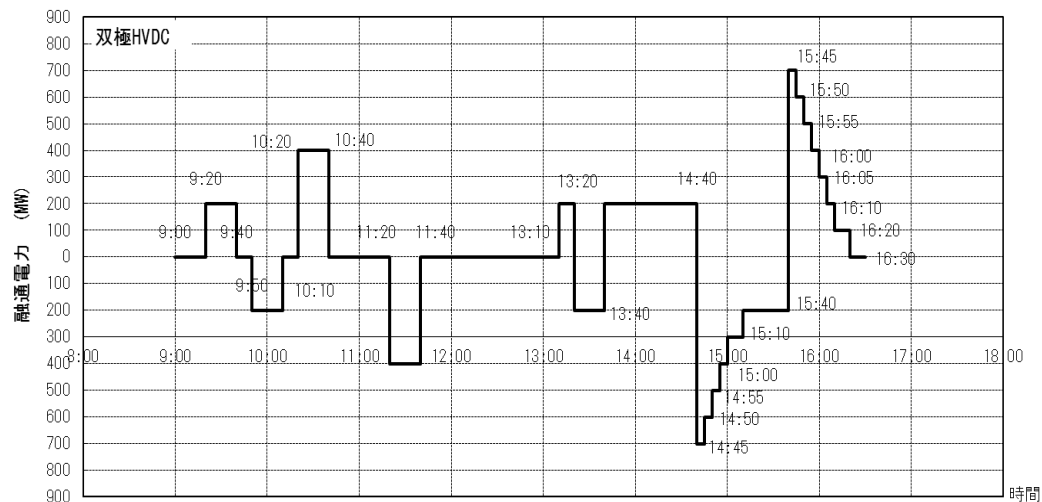
【基本制御特性試験】

- 現地監視制御盤からの電力指令値変更による、定電力制御の追従性確認
- 電力指令値と出力値の調整、検証
- 融通変更に伴う調相制御の確認



【特殊制御試験 (EPPS)】

- EPPS動作にて所期の応動・安定した制御追従性により融通変更することの確認
- EPPS動作による系統電圧変動の確認



2(1)c 2021年度主要作業件名 (広域機関調整対象作業計画)

制約箇所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本北海道	北本		①5/13~28 第1群 ②5/23~28 第1極			8/24~27 帰線				③8/30~10/25 2L			
	新北本			①6/17~29 新北本									
東北東京間		5/6~12 南いわき幹線 2L 4/19~25 南いわき幹線 1L	5/15~19 相福幹線 1L 5/20~23 相福幹線 2L 5/6~9 吾妻幹線 1L 5/10~13 吾妻幹線 2L	6/15 相馬双葉幹線 1L 6/16 相馬双葉幹線 2L				10/5~9 新福島2B		11/16~18 いわき幹線 1L 11/19~21 いわき幹線 2L			2/20~22 新福島3B
東京中部間	佐久間	4/17~18 FC							10/25~27 FC 10/28~30 FC	①1/11~5/18 FC			
	新信濃	4/6~7 4/13~14 4/26~27 5/1~5 中信全て北部系統切替		①5/31~6/11 2FC				10/18~19 2FC		11/22~26 馬瀬北部1L 11/27~12/1 馬瀬北部2L ②11/22~12/1 1FC			
	東清水		5/26 FC					①10/4~15 FC					
	飛騨信濃								②11/1~15 飛騨信濃				
中部関西間			4/21~22 三重東近江1L 4/22 三重東近江1L・2L交互										
中部北陸間		4/4~8 BTB 4/21~22 BTB		①6/13~30 BTB		②8/28~9/30 BTB				③10/6~12/9 BTB			
北陸関西間		4/4 越前500甲母線 4/5~8 越前500乙母線				①8/28~9/30 越前嶺南線 2L				②10/6~12/9 越前嶺南線 1L			
関西中国間		①3/1~4/15 日野幹線 1L 6/8~9 6/10~11 西播東岡山線 1L		6/15~18 西播東岡山線 1L 6/21~24 中国東幹線 1L 6/28~7/1 中国東幹線 2L			9/5 9/7~10 10/25 新岡山幹線 1L ②9/11~10/24 新岡山幹線 2L		11/8~9 中国東幹線 1L 11/10~11 中国東幹線 2L 11/15~16 山崎智頭線 1L 11/17~18 山崎智頭線 2L				③3/1~4/13 日野幹線 2L
関西四国間		4/6 第1極 ①4/7~16 第2極											
中国四国間		4/5 1L ①4/17~26 2L		②4/27~5/27 5/28 本四連系線 1L ③5/29~6/12 本四連系線 2L				10/5~6 本四連系線 1L 10/7~8 本四連系線 2L				④3/19~4/26 本四連系線 2L	
中国九州間			①4/13~24 関門連系線 1L ②5/11~22 関門連系線 2L										

【凡例】 : 主な直流設備関連定期点検・設備更新等および10日間以上の作業停止 (次頁に作業内容を示す)
 : 上記以外の運用容量減少を伴う作業停止

(参考) 2021年度作業における主な調整結果

連系線		主な作業	調整内容
北海道本州間	北本	①：第1極遮断器（O-11）更新他 ②：北本七飯線1号CVT・CT，北本上北線1号CVT・CT更新 他 ③：北本直流幹線2号線ケーブル一部張替他（B）	<ul style="list-style-type: none"> ①②は同調して実施、高経年設備のため更新が必要。 ③は障害対策であり、極力重負荷期を避け、早期に実施。
	新北本	①：交直変換設備3年目点検 他	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
東京中部間	佐久間	①：FC制御保護装置更新（C）	<ul style="list-style-type: none"> 作業開始時期については次年度策定時に詳細検討。
	新信濃	①：チラー空調改造 他 ②：1号FC取引用CT、VT検定 Wh計取替	<ul style="list-style-type: none"> ①は冷媒全廃のため改造が必要。重負荷期を避けて実施。 ②は法令順守により必要。重負荷期を避けて実施。
	東清水	①：サイスタバルブ関連機器点検（交流）	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
	飛騨信濃	①：初回点検	<ul style="list-style-type: none"> 第1極を先行して実施（第2極は2022年度で計画）
中部北陸間		①：BTB定期点検 ②③：北陸系統 中部北陸連絡母線による交流連系に伴う停止	<ul style="list-style-type: none"> ①は定例的に必要。重負荷期を避けて実施。 ②越前嶺南線作業に伴う南福光交流連系。
北陸関西間		①：加賀幹線電線地線張替・がいし取替No.161～越前S/Sに伴う保安停止 ②：越前嶺南線No.75～No.116電力線他張替工事（D）	<ul style="list-style-type: none"> ①は近接区間であり安全上必要。機器定期点検を同調。 ②は老朽取替で早期に必要。一定区間に区分して複数年で実施。
関西中国間		①：日野幹線1L遮断器取替工事 ②：新岡山幹線2L遮断器取替工事 ③：日野幹線2L遮断器取替工事	<ul style="list-style-type: none"> ①②③遮断器の老朽取替。引出線の取り回しやスペースの都合で元位置取替。
関西四国間		①：2極定期点検	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
中国四国間		①②③④：ケーブル接続部精密点検他	<ul style="list-style-type: none"> ①②③④は重負荷期を避け、天候安定期に定期的に実施。
中国九州間		①、②：送電線補修工事	<ul style="list-style-type: none"> ①②は設備保全のため必要。天候安定期に実施。

(B) 主要作業概要：北本直流幹線2号線ケーブル一部張替他 19

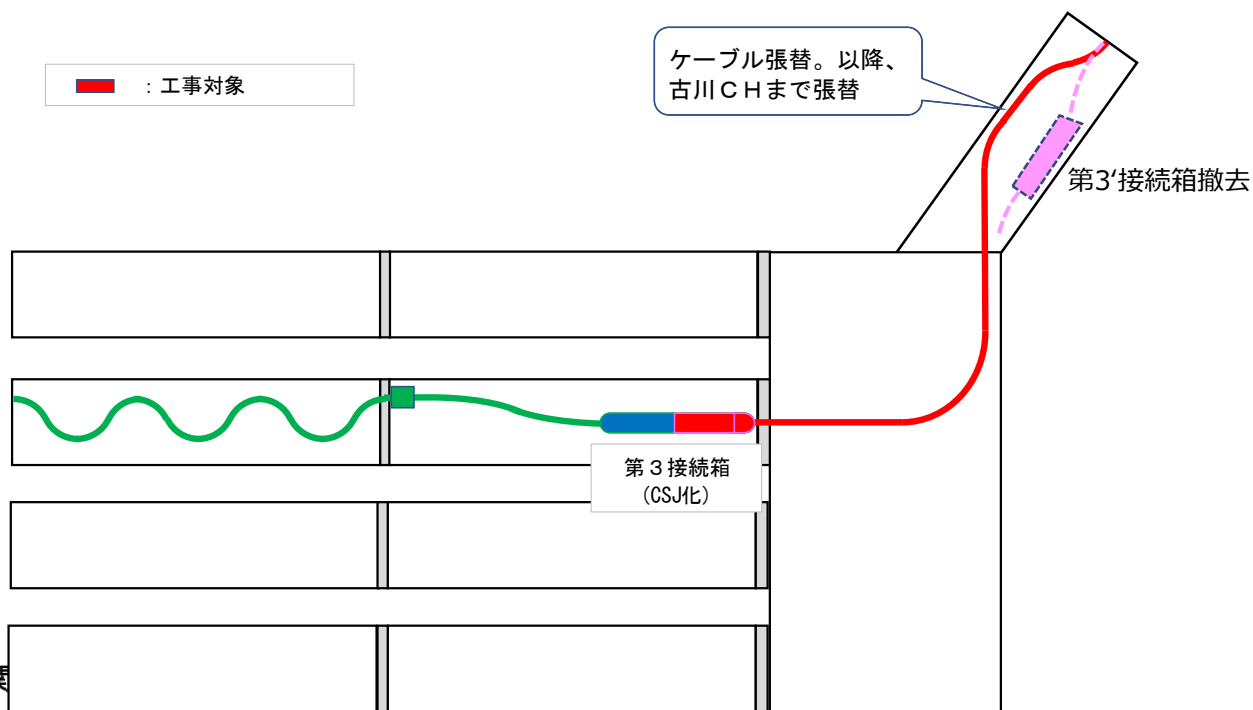
項目	内容
作業箇所	北本直流幹線
作業内容	北本直流幹線2号線ケーブル一部張替他
停止区間	北本直流幹線2号線
作業停止期間	2021年8月30日 7:00 ～ 10月25日 18:00 (57日間連続)
作業の必要性	2019年度計画の北本直流幹線2号線 (Bケーブル) 渚接続箱CSJ化対策工事は、冬季間の作業を回避するためケーブル張替を一部を分割した。期間を分割するため仮設備として「第3' 接続箱」を設置したが、長期使用を前提としていない設備であることと、陸上ケーブルについては異常 (微量のアセチレンガスが検出) もあるため、早急に実施する必要がある。
作業日程 設定理由	重負荷期を避けて実施

陸上ケーブル張替工事

工事範囲：第3接続箱（陸側）～第2接続箱～古川CH（終端接続箱）間



作業内容：陸上ケーブル張替工事（第三入孔～古川CH）および終端接続箱改修

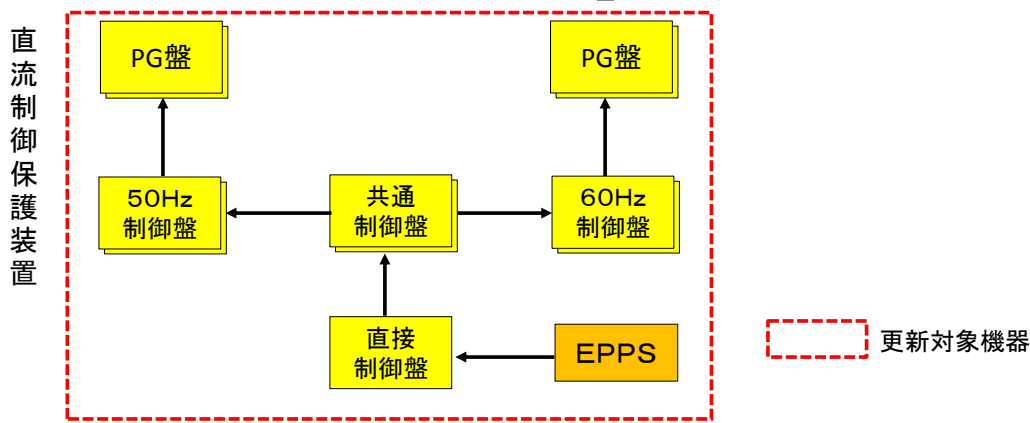
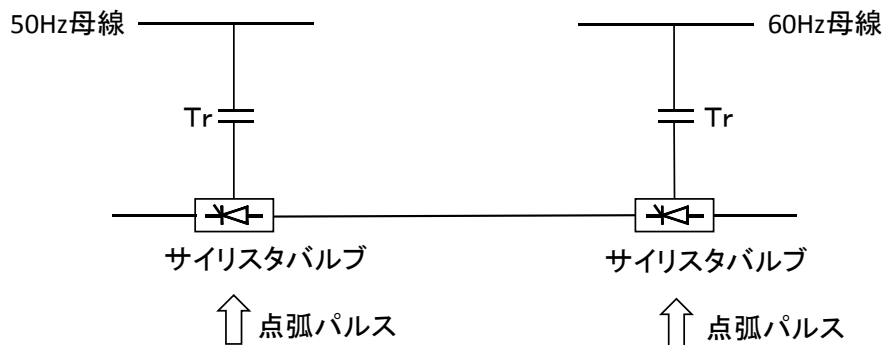


項目	内容
作業箇所	佐久間FC
作業内容	FC制御保護装置更新
停止区間	佐久間FC
作業停止期間	2022年1月11日 8:00 ～ 2022年5月18日 20:00（連続128日間）
作業の必要性	<p>佐久間FC は1993 年に主要な屋外機器と制御保護装置一式を更新しており、制御保護装置の大半が数年内に製作者保守対応が終了すること、2017 年2 月のPG 装置故障の起因によりFCが緊急起動できなかった等、至近において制御保護盤等の装置故障が増加傾向にあり、寿命期と考えており更新が必要である。</p> <p>【主な作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">①新設盤据付,現地単体試験,組合せ試験,現地シミュレータ試験②新設盤制御ケーブル他敷設,接続③既設盤制御ケーブル他離線,撤去④模擬運転試験, 低圧通電試験、遠方対向試験⑤系統連系試験 (起動停止試験,保護連動試験,基本制御特性試験,冗長性確認試験,系統制御試験、遠方操作試験他)
作業日程 設定理由	<p>更新時期については各社直流設備更新計画と調整 既設製作者が施工可能であり、他FC作業停止計画との重複停止を考慮して2021 年度下期より2022年度上期にかけて実施</p>

概略工程表

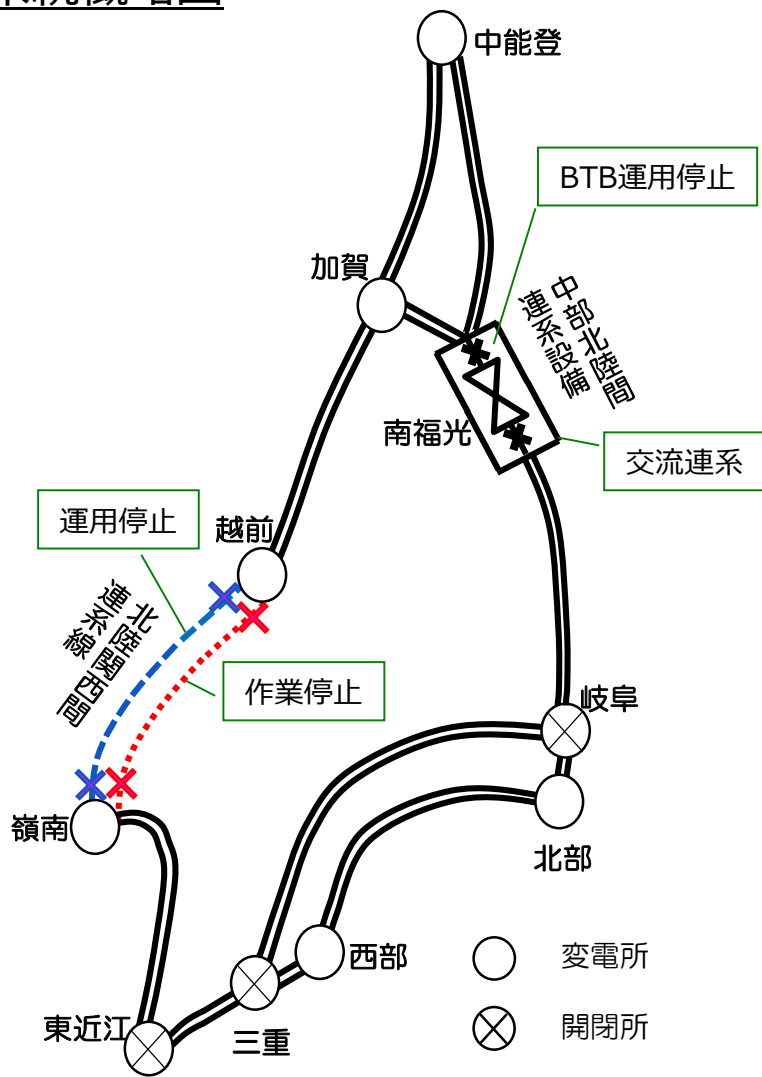
		2022年					備考
		1月	2月	3月	4月	5月	
停止設備	佐久間FC	1/11	—————				5/18
工事項目	ゲートバルブ発生装置取替、試験	—————					別位置更新困難
	DCWT、DCCT更新	—————					
	新旧切替、各種試験	—————					
	遠方操作試験、模擬運転試験			—————			
	系統連系試験				4/14	—————	5/18
	定期点検、各種補修	—————	—————	—			同調作業

概略図



項目	内容
作業箇所	越前嶺南線
作業内容	越前嶺南線 No. 75～No. 116 電力線他張替工事
停止区間	越前嶺南線 1 L
作業停止期間	2021年10月6日 8:00 ～ 2021年12月9日 18:00（連続65日間）
作業の必要性	越前嶺南線 1 L については経年 4 5 年、越前嶺南線 2 L については経年 4 4 年であり、腐食により老朽化が進んでいることから設備事故防止のため電力線張替が必要。
作業日程 設定理由	関連系統作業との重複を避けて実施

系統概略図



■ 北陸関西間連系線 1 回線停止時の運用

- N-1故障発生時のルート断や、北陸フェンス運用容量の大幅な低下を回避するため、北陸関西間連系線を1回線停止する場合は、北陸関西間連系線をルート開放し、南福光地点で交流連系する。(BTBは運用停止)

- 1 年間作業停止計画の調整・確認について
- 2 年間作業停止計画の調整・確認結果
 - (1) 広域調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 調整案に対する申出状況及び不調件名
 - c 主要作業件名
 - (2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 不調の解決に向けた対応の依頼状況
 - (3) 調整・確認結果

- 一般送配電事業者調整対象作業停止計画については、送配電等業務指針244条（作業停止計画の調整における考慮事項）に基づき、一般送配電事業者が下表のとおり、各項目の内容を確認し、停止時期や期間、同調作業停止の調整を実施。
- 当機関は、その調整が完了していることを、各一般送配電事業者に確認した。
- その結果、以下の各項目について妥当なものと判断した。

送配電等業務指針に定める 考慮事項（第244条）	一般送配電事業者調整対象作業停止計画	
	一般送配電事業者確認結果	広域機関確認結果
1.公衆安全の確保	○	○ (次シート参考のとおり)
2.作業員の安全確保	○	
3.電力設備の保全	○	
4.作業停止期間中の供給信頼度	○	
5.作業停止期間中の調整力	○	
6.作業停止期間中の一般送配電事業者の供給区域の供給力	○	
7.需要の抑制又は停止を伴う作業停止計画における需要家の操業計画	○	
8.発電の抑制若しくは停止又は市場分断の回避	○	
9.作業停止期間の短縮及び作業の効率化	○	
10.電気供給事業者間の公平性の確保	○	
11.複数の連系線の同時期の停止の回避	—	



- 本機関は、一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、送配電等業務指針244条（作業停止計画の調整における考慮事項）に基づく調整が完了していることを、下記のとおり、最終案として2月13日に確認した。

エリア	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
調整完了 件数	922 件	935 件	2283 件	2287 件	478 件	1378 件	614 件	1060 件	2212 件	318 件	12487 件
調整未完了 件数※	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

※原案等で提出された件名のうち調整が完了していない作業停止計画

- 調整後の一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、一般送配電事業者から本機関へ不調の解決に向けた対応の依頼はなかった。

項目	件数
不調の解決に向けた対応の依頼	0件

1 年間作業停止計画の調整・確認について

2 年間作業停止計画の調整・確認結果

(1) 広域調整対象作業停止計画

a 調整・確認状況

b 調整案に対する申出状況及び不調件名

c 主要作業件名

(2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画

a 調整・確認状況

b 不調の解決に向けた対応の依頼状況

(3) 調整・確認結果

- 以上のことより、広域機関が取りまとめ、確認、承認する年間作業停止計画について、
 - ①送配電等業務指針244条の作業停止計画の調整における考慮事項に基づいていること（シート8、26）
 - ②年間作業停止計画の調整案に対し、発電計画提出者から再調整の申出がないこと（シート9、28）
 - ③年間作業停止計画について、調整が完了しており、不調がないこと（シート9、28）について確認した結果、妥当であると判断し、承認する。